

平井秀明オペラ合唱団

略称:H20合唱団

団からのお知らせ 2017年8月22日号

H20合唱団事務局

◎祝・オペラ『小町百年の恋』東京公演が成功裏に終演！！



2008年つくば市での世界初演以来、9回目となる公演は、東京では2009年東京初演以来、実に8年振りでしたが、ソリスト、ダンサー、合唱(H20合唱団&『小町百年の恋』記念合唱団有志)、児童合唱、室内アンサンブルが、作曲家自身の渾身のタクトのもとに一丸となり、素晴らしい熱演・熱唱となり、無事成功裏に終えることが出来ました。初めての試みである、背景画像も制約のある舞台条件で非常に効果的でした。団員の皆様、大変お疲れ様でした！来年は世界初演10周年を迎え、ぜひ茨城県で再演復活を願い、茨城県民オペラ協会や『小町百年の恋』記念合唱団とも連携を深めて参りましょう。



♪来聴者、出演者から寄せられた感想：

「平井先生の3部作の最後の1作にやっと巡りあえて大感激でした。ロスのかぐや姫の合唱に参加した身としては合唱が気になり、とてもきれいなハーモニーに嬉しいかぎりでした。ますますのご活躍をお祈りしております。」(『かぐや姫』ロサンゼルス公演参加者 小田京子様)



「名曲がちりばめられたこの素晴らしいオペラに参加させて頂く事が出来て幸せの極みです。(中略)私事で大変恐縮ですが...毎度の小町ロスが始まりました。白日夢の如く頭の中で曲がリフレイン、知らないうちにロザンデでいたりしています。3年前は佐藤およしさん・谷川虫麻呂さん的一幕エンド二重唱と清水阿鼻さんの“体が前に進まぬ〜”が代わる代わる頭の中で鳴り、2年前は上記に加え豊島閻魔さんが脈略も無く被さって訳の判らない二〜四重唱になり(楽譜に起こせればすごいんでしょうが調性むちゃくちゃです)、今回東京2017では小嶋お松さんの『我が面の』と藤川踊り子さんのキレキレの踊りが代わる代わる浮かんで変になりそうです。小町は劇薬かつ中毒性も高いようです(個人差があります)。さて、私の禁断症状が酷くならないうちに再演される事を祈念致します。その際はまたお声かけ頂ければ幸いです〜私の顔を忘れそうになったら、筑波山を見て懐かしんで下さい〜。長文になりました、ご容赦下さいませ。」(小町記念合唱団 水村秀史様)



♪H20 小野敏夫代表と同じく、小野小町の末裔と名乗る小野秀夫様のご感想で、不思議なご縁を感じますね。

「感動の舞台でした！！ありがとうございます。私は小野小町の子孫なのですが、感想をよろしければご覧ください。突然ですが、小野小町にどういうイメージがありますか？昨日の満月、今日の月も、雲間から見えたり見えなかったり。関心を持って月を眺める人がますます増えていますね。日本人はその昔から、月を愛でては和歌に詠んできました。＜空をゆく月のひかりを雲間より 見でや聞にて世ははてぬべき＞これは、小野小町が詠んだ歌です。それにしても、何と美

しい調べでしょうか。地球の歴史の先の先まで見通しているような透徹したまなざしを感じます。世界三大美女の誉れ高い小野小町ですが、和歌の才能がもっと注目されてよいのではないのでしょうか。六歌仙そして三十六歌仙にも入っているのです。去年公開され、異例のロングラン大ヒットとなったアニメ映画「君の名は。」新海誠監督によると、この作品は、小野小町の一首の和歌がモチーフになっているんですね。＜思ひつつ寝(ぬ)ればや人の見えつらむ 夢と知りせば覚めざらましを＞この歌です。現代語訳は、「あの人のことを思いながら眠りについたから夢に出たのだろうか。夢と知っていたなら目を覚まさないでただろうものを」。読めば読むほど味わい深い歌だと感じます。

私が8月5日の土曜に観たオペラは「小町百年の恋」。作曲・台本・指揮を平井秀明が担うこの作品は、「かぐや姫」「白狐」と並ぶオペラ三部作のひとつです。ヒロインはもちろん小野小町。筑波山麓を舞台に、歌人で役人でもある高橋虫麻呂が美形の人妻・およしに惚れ、和歌を詠んで迫ろうとする前半から、小野小町を求めて百日通い詰めようとして果たせなかった深草少将が虫麻呂に乗り移り、小町との愛をついに成就させるクライマックスまで、全編すべて日本語。流麗なメロディーの付いた和歌が主役となる、画期的な「日本語オペラ」なのです。

主要キャストの佐竹由美と谷川俊幸はさすがの歌唱でしたが、**村人たちを演じた合唱の皆さんも素晴らしい出来でした**。平井秀明オペラ合唱団が26人、「小町百年の恋」記念合唱団が13人、就学前のちびっこもいる「小町百年の恋」記念児童合唱団が19人。「裸足のピアニスト」下山静香さんを通じて親しくさせていただいている「友達」三輪典司さんがテノールを引っ張り、とってもいい味を出していました。練習回数がそれほどない中で、驚きの完成度。室内アンサンブル（ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット各1）も2時間半の長丁場をしっかりと彩っていました。私は、みなとオペラ愛好会というアマチュアのオペラ団体で10年間活動、バリトンかバスのキャストとして六つの大きな公演に出演した経験があるだけに、「小町百年の恋」の全員の息の合った熱演には胸が熱くなりました。

作中で歌われた和歌は18首にも上ります。<筑波嶺の峰より落つる男女川 恋ぞつもりて淵となりぬる>陽成院のこれは百人一首に入っている有名な歌ですね。小野小町の歌は6首です。<今はとてわが身時雨にふりぬれば 言の葉さへにうつろひにけり>「夢の三部作」は次の3首。<いとせめて恋しき時はむば玉の 夜の衣を返してぞ着る> <思ひつつ寝ればや人の見えつらむ 夢と知りせば覚めざらましを> <うたたねに恋しき人を見てしより 夢てふものは頼みそめてき> 小野小町の夢をモチーフにした歌は天下一品ですね。そして、百人一首に採られた有名なこの歌。<花の色はうつりにけりないたづらに わが身世にふるながめせしまに>さらにこれも彼女の名歌です。<色見えでうつろふものは世の中の 人の心の花にぞありける>いま改めて脚光を浴びる小野小町。彼女の祖父とされる小野篁（たかむら）は、我が家の系図をたどると出ている、小野家の先祖のひとり。つまり、私は小野小町とDNAのつながりがあるかもしれません。」

◎公演収支補填のため最低 2,000~3,000 円のカンパのお願い：毎回完売の当団としては珍しく、夏休み前の時期もあつてか、チケット販売に予期せぬ苦戦をいたしました。間際まで皆様の販売協力には心より感謝申し上げます。既に、H20 合唱団本会計の繰越金、および HIRAI ART TEAM(HAT)より補填しましたが、未だ不足する残額補填のため、団員皆様にはカンパへのご協力をいただければ誠に幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

◎8月28日（月）傘寿記念『平井丈一朗チェロコンサート』（平井秀明指揮、平井元喜ピアノ@東京文化会館小ホール）がいよいよ来週となりました。大変貴重な機会ですので、皆様ぜひご来聴ください！

◎10月下旬：パチカン&ローマツアーの開催が正式決定！ロサンゼルス、ニューヨークからも参加希望者が増えており、世界各地からパチカンへ合唱愛好家が集い謳い上げる【平和の祈り】特別演奏となります。追加申込受付中ですので、お誘い合わせの上、大勢のご参加を歓迎いたします！

◎2017年12月2日（土）&3日（日）オペラ『かぐや姫』福井再演《2回公演》が能楽堂で開催決定！！
 昨年のハイライト福井初演の好評を得て、全幕2回公演が話題の新施設ハピリンホールの能舞台にて開催されることになりました。9月からH20合唱団福井支部である福井『かぐや姫』合唱団、児童合唱団、バレエ、ソリストの稽古も本格的にスタートします。合唱参加、衣裳・着付けなどのご協力の要請をいただいておりますので、冬の味覚である越前ガニや、名物の越前蕎麦、芦原温泉や、近郊都市の金澤、富山などの観光も兼ねて、ぜひ奮ってご参加ください！

◎8月～10月の練習日程

8月	22日	火	18:45-21:00	渋谷区総合センター大和田	H ₂ O	練習室3
9月	12日			中原市民館	H ₂ O	音楽室
	26日			高井戸地域区民センター※	H ₂ O	音楽室 ※仮予約
10月	10日			中原市民館	H ₂ O	視聴覚室
	17日	未定	H ₂ O			

※9/26は子ども育成音楽プロジェクト“こどおん”名義で予約。

（カラー版はホームページ <http://www.h2ochorus.com/> でご覧ください。）